

小規模企業景気動向調査

[平成23年8月期調査]

～円高・天候不順の影響等で、悪化に転じ、先行き不透明な小規模企業景況～

2011年9月26日
全国商工会連合会

<調査概要>

調査対象：全国約300商工会の経営指導員

調査時点：2011年8月末

調査方法：対象商工会経営指導員による調査票への選択記入式

<産業全体> ◇…円高・天候不順の影響等で、悪化に転じ、先行き不透明な小規模企業景況…◇

8月期の小規模企業景気動向調査では、産業全体の業況DI(景気動向指数・前年同月比)は、▲40.1と前月調査に比べ3.3ptの悪化に転じた。また、サービス業を除く3業種において調査項目すべてが悪化を示した。特に、建設業の売上額・業況については、約5ptを超える大幅な悪化となった。一方、サービス業については、全ての項目で引き続き改善の傾向が見られたものの、円高や大雨による災害等の影響を受け、先行きは不透明である。

<製造業> ◇…受注は安定しているが、急激な円高への対応を迫られる製造業…◇

製造業DIは、▲32.5と前月比で3.5ptの悪化となった。食品・繊維製造業、建設機械製造業においては、受注が東日本大震災以前の状況に戻りつつあり、大手メーカーからの増産の要請を受け、好調な企業もある。しかし、急激な円高の為に、原材料費が上昇し、かつ、値上がり分を価格に転嫁が困難な状況であり、対応に苦慮している企業も多い。

<建設業> ◇…回復基調から一転、大幅な悪化となり、厳しい状態が続く建設業…◇

建設業DIは、▲51.9と前月に比べ6.4ptの大幅な悪化となった。震災復興事業や7月下旬に起きた福島県・新潟県等の大雨災害の復旧工事で受注を確保している企業もみられるものの、全体としては公共工事の発注は少なく、受注できても採算が厳しいケースも多く、倒産する企業も増加しており、厳しい状態である。

<小売業> ◇…夏季の需要で一部好調な業種はあるが、低迷が顕著になりつつある小売業…◇

小売業のDIは、▲42.6ptと前月までの回復傾向から一転5.2ptの悪化となった。小売業の好調をけん引していた地デジ移行需要や節電対策特需も終了しつつある。衣料品関係は消費低迷の影響もあり低調である。食料品に関しては、消費者の安全志向から来る産地や商品に対する選別が進んでいる。また、飲料等が猛暑の影響で好調な部分はあるが、震災や天候不順の影響で生鮮品を中心に仕入価格が上昇している。一部ではあるが、急激な円高を逆手に取り、円高還元セールを行う店舗も出始めている。

<サービス業> ◇…5か月連続の改善だが、地域・業種によっては厳しさの続くサービス業…◇

サービス業DIは、▲33.2と2.0ptと改善幅は前月よりも減少したが、5か月連続の改善となった。夏の観光シーズンを迎え、宿泊業を中心とした観光関連産業が好調な地域がある一方で、悪天候・風評被害・消費低迷の影響もあり、厳しい地域や業種も多く、まだら模様となっている。

業種	産業全体			製造業			建設業		
	7月	8月	前月比	7月	8月	前月比	7月	8月	前月比
売上額	▲34.9	▲36.4	▲1.5	▲25.0	▲26.7	▲1.7	▲36.4	▲44.1	▲7.7
採算	▲35.0	▲36.4	▲1.4	▲28.8	▲29.9	▲1.1	▲47.2	▲50.8	▲3.6
資金繰り	▲32.2	▲33.2	▲1.0	▲25.1	▲25.9	▲0.8	▲45.8	▲49.5	▲3.7
業況	▲36.8	▲40.1	▲3.3	▲29.0	▲32.5	▲3.5	▲45.5	▲51.9	▲6.4

業種	小売業			サービス業		
	7月	8月	前月比	7月	8月	前月比
売上額	▲37.3	▲41.4	▲4.1	▲41.1	▲33.3	7.8
採算	▲32.1	▲36.6	▲4.5	▲32.1	▲28.4	3.7
資金繰り	▲30.0	▲32.9	▲2.9	▲28.2	▲24.5	3.7
業況	▲37.4	▲42.6	▲5.2	▲35.2	▲33.2	2.0

注) DI(景気動向指数)は各調査項目について、増加(好転)企業割合から減少(悪化)企業割合を差し引いた値を示す。

全国商工会連合会 企業環境整備課

〒1000006 東京都千代田区有楽町1-7-1 有楽町電気ビル19F TEL:03-6268-0085 FAX:03-6268-0997 担当:堀内 雅史